

環境工学科 アドミッション・ポリシー

環境工学科は、身近な環境から地球環境に至るあらゆる環境問題を解決するための、工学技術を身に付けた人材を養成します。工学分野のみならず、理学、農学、社会科学など幅広い分野での素養をそなえ、環境共生を図りながら資源循環型社会をめざす技術者を育成します。そのために、世界各地で生じている多様な環境問題に常に関心を持ち、身に付けた能力を活かして献身的に問題解決に貢献する意欲を持つ人を求めています。

求める人物像

1. 環境問題に関心があり、技術を通じて解決に貢献したいという情熱を持っている人
2. 身の回りの地域とともに、地球的規模の環境問題解決についてもかかわっていきたい人
3. 理科や数学が好きで、その能力を発展させて実際の問題解決に応用したいと思っている人
4. 実験や野外調査に興味があり、それらを通じて現象を解明する能力を身に付けたい人

入学前に学習しておくことが期待される内容

環境工学科に入学するまでに、以下に記した能力を身に付けておくことを求めます。

1. 理科は、「科学と人間生活」「化学基礎」「物理基礎」「生物基礎」を中心として、幅広い理系教科の基礎を学ぶとともに、実験と観察の力を養っておくこと
2. 数学は、「数学 I」、「数学 A」、「数学 II」、「数学 B」を中心として、図形と方程式、数列、指数関数、対数関数、三角関数、微分・積分の考え、確率と統計的な推測を学習しておくこと。加えて「数学 C」で扱うベクトルの基本的な概念を学習しておくことが望ましい
3. 英語は、グローバル人材の共通言語として、コミュニケーションに必要な素養、特に文章の読解力と基本的な英作文・英会話能力を身に付けておくこと